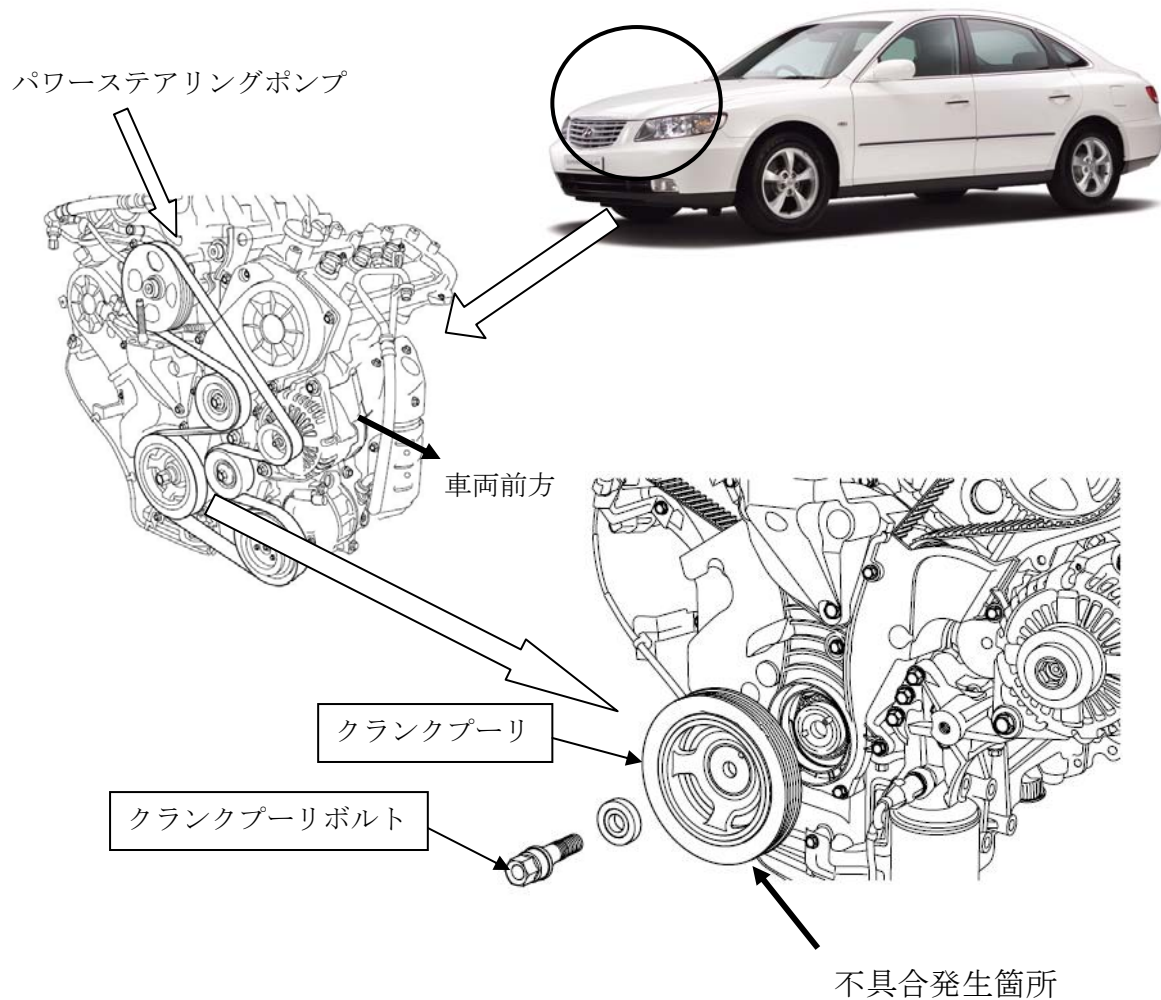


改善箇所説明図



注： は交換部品を示す。

不具合発生箇所

原動機クラックプーリの外側リング部において、表面処理が不適切なため、防振用ラバーとの接着が不十分なものがある。そのため、当該リング部と防振用ラバーが剥離し、当該リング部から異音が発生し、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、当該リング部が離脱し、パワーステアリングポンプが作動せず、ハンドルの操作力が増大するおそれがある。

改善の内容

全車両、クラックプーリを良品と交換するとともに、クラックプーリボルトを新品と交換する。

識別：手前側タイミングベルトカバー上部に黄ペイントを塗布する。